

有限会社 H.I.プランニング 243-0025 厚木市上落合 6 9 7 - 2 Tel/Fax046-230-0890

代表 岩崎 仁志

E-mail : h-iwasaki@tbz.t-com.ne.jp

H. I. インフォメーション 2023年2月特別号

物流現場においては人材が重要であることは、誰もが同意されることでしょう。これまで幾度となく人材について述べてきました。どの様な企業にも能力や経験をもちながらそれを生かききれていない「惜しい人」が存在しています。惜しい人を生み出してしまう昨今の経営環境について検討した上で、その人たちの能力を発揮できるように、指導法やプライオリティの考え方を説明したいと思います。「惜しい人」とは、ちゃんと学校を出て入社試験もクリアし、役に立つ資格も持っており、またやる気も十分にあり夜遅くまで懸命に働いているのに残念ながら結果が出ない、仕事がかまうまいか、そんな人達のことを言います。「惜しい人」≡「もったいない人」と言うことができるでしょう。それを解決するには、仕事におけるプライオリティを明確にすることが必要だと考えます。仕事に正しいプライオリティをつけることで能力×やる気が生かされ、成果に結びつけられることができるようになります。例えば、トラックは「ボタンを押すとエンジンがかかる」のが当たり前です。しかし、かかるのが当たり前となって今日工夫をすることがなくなってしまうました。かつてトラックのエンジンをかけるとき、寒い日はエンジンの下を火鉢であたためたり、ヒーターの加減を調整したりしてエンジンをかけなくてはなりません。当然プロドライバーはエンジンについても一通りの知識と経験が必要で工夫しながら運転を行っていました。今やエンジンはスイッチを入れれば必ずかかります。エンジンの知識がないドライバーが当たり前となっています。本当に良いのでしょうか？

これを仕事にあてはめると、言われたことをこなすことが上手な人が良い、とされてきており、いつまでも仕事のできない人を切りすててきました。できない人をどうやって育てるか、考えない幹部と経営者に陥っていたのです。あまりにも仕事においてもシステム化が進んだために考えることがおろそかになっていることが惜しい人が増えている要因だと考えられます。

今後変化の多い時代に勝ち抜くには仕事本来の目的を理解し、工夫することが必要です。幹部にとって部下に対してこれまで以上に仕事の目的、意味を伝えていくことが必要となっているのです。そうやって自分で工夫改善する人を生み出す社風が生まれれば、惜しい人、もったいない人は、その人が持つ良さを発揮することで、なにか一つでも極めて出来る人に変身し、企業に役立つ人となり、企業の成長に貢献してくれるはずですよ。

お知らせ

- ① コラボネット事業協同組合では、2月16日（木）午後3時からオープンセミナーをオンライン形式で開催いたします。今回は物流業サバイバル戦略「運賃交渉の進め方～標準的運賃の活用とは」のテーマで弊社の岩崎が講演させていただきます。お申し込みは別添参照の上コラボネット事務局(株)ナガオ内井上Tel 04-2945-5611 まで。
- ② 損害保険ジャパン株式会社長崎支店では、運送業者全般を対象に「働き方改革に備えて、今なすべきこと」セミナー2023年2月22日（水）午後1時半～3時半まで諫早商工会議所3階大会議室で開催します。弊社代表の岩崎が講師を務めさせていただきます。お申込みは長崎支店電話 070-3953-7475